

教科（地理歴史） 科目（世界史B） 学年（2） 単位数（3）

類型（文）

履修規定（選択）

学習の目標			使用する主な教材						
多様な時代、地域の歴史を学習し、日本の歴史との共通点や相違点を知る。そして、その共通点や相違点が生じた要因は何なのか追究する中で、日本の歴史への理解をいっそう深めるとともに、文化の多様性を理解し、異文化を尊重できる態度を育成する。			・教科書 『詳説 世界史 改訂版』（山川出版社） ・副教材 『ニューステージ世界史詳覧』（浜島書店）						
			評価の観点 ① 関心・意欲・態度 ③ 資料活用 of 技能 ② 思考・判断・表現 ④ 知識・理解						
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点					
				①	②	③	④		
一 学 期	4	世界史への扉 序章 先史の世界	・世界史への導入として、「自然現象と人間生活」、「人間の地球観の変遷」、「現在の日常生活と世界史の学習内容の関連」など興味関心を抱けるようになる。 ・人類の起源、農耕・牧畜の開始、国家の成立などについて、古代オリエント、ギリシア・ローマ文明を題材に考察する。 ・世界諸地域の古典文明の共通点や差異を知り、それらが生じた背景について考察する。	◎		○			
	5	第1章 オリエントと地中海世界 1 古代オリエント世界 2 ギリシア世界 3 ローマ世界		◎		○	◎		
		6		第2章 アジア・アメリカの古代文明 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明	◎	○	○	○	
				7	3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	◎	○	○	◎
	二 学 期	8			第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 1 草原の遊牧民とオアシスの定住民	・世界諸地域のそれぞれの自然環境に応じた、生活様式、価値観、文化について考察する。 ・日本文化の源流である東アジア文化圏の成立過程と特徴について考察する。 ・イスラーム社会の成立から発展をたどることにより、イスラーム教の他の宗教に対する寛容さやその特徴を知り、イスラームについての正しい理解をする。さらに現在もたれているイスラームへの負のイメージを払拭する。	◎	○	
		9		2 北方民族の活動と中国の文明 3 東アジア文化圏の形成			◎	○	○
				10	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展		◎	○	○
11			◎		○			○	
		12	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1 西ヨーロッパ世界の成立		○		○		◎
三 学 期	1		2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパ中世文化	・イスラームと中国を中心とする東アジア世界の変容を、ユーラシア大陸全体の視野から考察する。	◎	○	○	○	
	2	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 1 トルコ化とイスラーム化の進展	◎			○			
		3	2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国		○	○	○	◎	
	評価の方法		定期考査の得点に平常点（課題・授業態度・小テスト等）を加味して100点満点で各学期とも算出する。学年末の成績は各学期の成績をもとに算出する。主に、①、②、③、④の4つの観点から総合的に判断する。						
備考									